

授業科目名	英語 R・W	時間割	Aクラス:水曜1時限 Bクラス:火曜3時限 Cクラス:火曜1時限																
担当教員名	廣渡 太郎	担当教員所属	看護学科																
開講学年・時 期	第2セメスター	単位数	1単位(30時間) 必修・選択 必修科目																
授業の目的・目標	<p>【英語リーディングとライティングスキルの基礎】 情報収集のためのリーディングや自己表現のためのライティングは、国際社会での活動に欠かせないスキルである。本講座では、前期に培った英語力に磨きをかけるリスニングとスピーキングの演習に加え、スピードリーディングとライティングスキルの基礎訓練を行う。同時に、グループ単位で行うジャーナルライティングに挑戦し、英語でのコミュニケーションに必要な基本スキルの養成と強化をめざす。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>第一回 : CLASS GUIDANCE クラスガイダンス</td> <td>第九回 : Buying goods How about 400 baht for two?</td> </tr> <tr> <td>第二回 : The heart of Japanese language One Piece & Nodame Cantabile</td> <td>第十回 : Sending mail at a post office I'd like to send this to Japan.</td> </tr> <tr> <td>第三回 : Asking for information What time does it start?</td> <td>第十一回 : Suggesting things to do We're staying five more days.</td> </tr> <tr> <td>第四回 : Talking about places you visit Have you been to the islands?</td> <td>第十二回 : Holiday Season Special Lesson "A Charlie Brown Christmas"</td> </tr> <tr> <td>第五回 : Talking about interests I really like rugby!</td> <td>第十三回 : Describing things I lost my bag!</td> </tr> <tr> <td>第六回 : Making arrangements Where should we meet?</td> <td>第十四回 : Talking about your vacation What did you like the best?</td> </tr> <tr> <td>第七回 : MOVIE THEATER "High School Musical" Part I</td> <td>第十五回 : FINAL EXAM 期末試験</td> </tr> <tr> <td>第八回 : MOVIE THEATER "High School Musical" Part II</td> <td></td> </tr> </table> <p>授業は、テキストによる“会話演習”“語彙習得”“文法理解”、および、毎回授業の始めに実施するスピードリーディングの小テストで構成される。同時に、課外ではグループ単位でジャーナルライティングを行い、継続して英語で自己表現するための基礎力を養う。</p>			第一回 : CLASS GUIDANCE クラスガイダンス	第九回 : Buying goods How about 400 baht for two?	第二回 : The heart of Japanese language One Piece & Nodame Cantabile	第十回 : Sending mail at a post office I'd like to send this to Japan.	第三回 : Asking for information What time does it start?	第十一回 : Suggesting things to do We're staying five more days.	第四回 : Talking about places you visit Have you been to the islands?	第十二回 : Holiday Season Special Lesson "A Charlie Brown Christmas"	第五回 : Talking about interests I really like rugby!	第十三回 : Describing things I lost my bag!	第六回 : Making arrangements Where should we meet?	第十四回 : Talking about your vacation What did you like the best?	第七回 : MOVIE THEATER "High School Musical" Part I	第十五回 : FINAL EXAM 期末試験	第八回 : MOVIE THEATER "High School Musical" Part II	
第一回 : CLASS GUIDANCE クラスガイダンス	第九回 : Buying goods How about 400 baht for two?																		
第二回 : The heart of Japanese language One Piece & Nodame Cantabile	第十回 : Sending mail at a post office I'd like to send this to Japan.																		
第三回 : Asking for information What time does it start?	第十一回 : Suggesting things to do We're staying five more days.																		
第四回 : Talking about places you visit Have you been to the islands?	第十二回 : Holiday Season Special Lesson "A Charlie Brown Christmas"																		
第五回 : Talking about interests I really like rugby!	第十三回 : Describing things I lost my bag!																		
第六回 : Making arrangements Where should we meet?	第十四回 : Talking about your vacation What did you like the best?																		
第七回 : MOVIE THEATER "High School Musical" Part I	第十五回 : FINAL EXAM 期末試験																		
第八回 : MOVIE THEATER "High School Musical" Part II																			
成績評価の方法	出席点(授業への参加度を含む)、平常点(課題提出・積極性等)、リーディング小テスト、期末試験の成績による総合評価。																		
テキスト・参考文献	別途指示。																		
履修にあたっての留意点	英語力の養成は継続して学習することが大前提である。したがって、遅刻・欠席は出席点減点の対象となり、欠席回数が履修規定を越えた受講生は、事由の如何に関わらず「D」の成績評価となるので注意すること。																		
備考																			

授業科目名	中国語 R・W		時間割	月曜日 1 時限	
担当教員名	張 雅麗	担当教員所属	非常勤講師		
開講時期	第 4 セメスター	単位数	1 単位 (30 時間)	必修・選択	選択必修
授業の 目的・目標	<p>初級中国語の基礎能力を身に付くことを目的とし、次のことを目標とする。</p> <p>1) 中国語の発音記号 (ピンイン) に慣れ、自分で読んだり、聴いてわかったりすることができる。</p> <p>2) 中国語を用いて、日常の簡単な会話や医療現場で使える表現を活用することができる。</p> <p>3) 初級中国語の基本文法について理解し、読んだり、書いたりすることができる。</p> <p>4) 日々の学習を通じて、中国の生活文化についての理解を深める。</p>				
授業計画	<p>第一回. 能願動詞 (助動詞) 1</p> <p>第二回. 過去の経験を表す</p> <p>第三回. 動詞と量の表現、程度補語</p> <p>第四回. 能願動詞 (助動詞) 2</p> <p>第五回. 存在を表す動詞「在」</p> <p>第六回. 動作の進行、方向補語</p> <p>第七回. 結果補語、比較表現</p> <p>第八回. 二重主語</p> <p>第九回. 使役文</p> <p>第十回. 受身文</p> <p>第十一回. 動作・状態の継続</p> <p>第十二回. 存現文、可能補語</p> <p>第十三回. 処置文の「把」</p> <p>第十四回. まとめ</p> <p>第十五回. 試験</p>				
成績評価の 方 法	平常点 (受講態度など) と期末試験で評価する				
テキスト および 参考文献	○	書名：中国語入門ポイント45	出版社：三修社	著者：山下輝彦	
テキストには ○印		書名：	出版社：	著者：	
		書名：	出版社：	著者：	
		書名：	出版社：	著者：	
		書名：	出版社：	著者：	
履修にあつ ての留意点					
備 考					

授業科目名	フランス語R・W		時間割	火曜日 1 時限	
担当教員名	辻野 稔哉	担当教員所属	非常勤講師		
開講時期	第4セメスター	単位数	1 単位 (30 時間)	必修・選択	選択必修
授業の 目的・目標	イラストや写真を通してフランスの様々な文化に触れながら、フランス語の基礎を整理して学習します。またフランス旅行を想定した、実用的な会話や語彙を身につけることを目標とします。				
授業計画	<p>第一回 : 挨拶、数字</p> <p>第二回 : 主語の代名詞、動詞 être</p> <p>第三回 : 第一群規則動詞</p> <p>第四回 : 疑問文の作り方</p> <p>第五回 : 名詞の性と数、冠詞</p> <p>第六回 : 動詞 avoir、否定文</p> <p>第七回 : 形容詞の性と数</p> <p>第八回 : 所有形容詞、指示形容詞</p> <p>第九回 : 人称代名詞強勢形</p> <p>第十回 : 前置詞と冠詞の縮約</p> <p>第十一回 : 疑問代名詞 que、近接未来</p> <p>第十二回 : 部分冠詞、命令文</p> <p>第十三回 : 非人称構文、疑問形容詞 quel</p> <p>第十四回 : 人称代名詞</p> <p>第十五回 : 期末試験</p>				
成績評価の 方法	出席状況 (30%) と期末筆記試験 (70%) によって成績を決定する。ただし、授業を3分の1以上欠席した者は、期末試験の受験資格無しとする。				
テキスト および 参考文献	○	書名 : トライ! フランス語	出版社 : 駿河台出版社	著者 : 藤田知子 他	
テキストには ○印		書名 :	出版社 :	著者 :	
		書名 :	出版社 :	著者 :	
		書名 :	出版社 :	著者 :	
		書名 :	出版社 :	著者 :	
履修にあつ ての留意点	語学の授業ですので、一回の欠席が学習上の大きなマイナスになります。毎回出席して少しずつ確実に、フランス語を身につけて行きましょう。				
備考	必ずしも仏和辞典を購入する必要はありませんが、希望者には以下の辞典をおすすめします。『プチ・ロワイヤル仏和辞典第3版 (CD付)』旺文社 3990 円				

授業科目名	国際関係論		時間割	月曜日 5 時限	
担当教員名	井上 忠男	担当教員所属	看護学科		
開講時期	第2 Semester	単位数	1 単位 (30 時間)	必修・選択	必修科目
授業の 目的・目標	あらゆる国も個人も、自らの平和と安全を希求し、行動する。本授業ではグローバリズムが加速する国際社会が抱える諸問題を「人類への脅威」として捉え、これらを国家の安全保障と人間の安全保障の二つの視点から考察し、その中で果たす赤十字などの国際機関の機能を探る。またすべての人間の尊厳を守るシステムとしての国際人道法と国際人権法及び人間の安全保障を巡る諸問題について理解を深めるとともに、国際社会を規律する道義的規範としての人道主義の可能性についても考察する。これらの考察を通して、現代世界に生きる人間としての私たちのより良い生き方を考える。				
授業計画	<p>第一回 : 国際関係とは何か</p> <p>第二回 : グローバリズムとは何か : 相互依存の構図と私たちの暮らし</p> <p>第三回 : 国際社会の平和と安全 (1) 国家と国際の安全保障</p> <p>第四回 : 国際社会の平和と安全 (2) 戦争のルールと戦争犯罪</p> <p>第五回 : 国際社会の平和と安全 (3) 冷戦後の戦争と犠牲者</p> <p>第六回 : 国際人権法と国際人道法～人間の尊重と保護の国際システム</p> <p>第七回 : 人間の安全保障 (1) それは何を問題にするか</p> <p>第八回 : 人間の安全保障 (2) 地球環境と私たち</p> <p>第九回 : 人間の安全保障 (3) 貧困、子ども、医療と健康、人権など</p> <p>第十回 : 遠隔授業 : 内外の救援・開発援助の現場と結んだ授業</p> <p>第十一回 : 国際救援のシステムとは : 救援要員の報告から</p> <p>第十二回 : 国際社会の普遍的規範とは何か : 人道主義の歴史と普遍化の過程</p> <p>第十三回 : 現代社会の人道危機と人道支援～その課題とジレンマ</p> <p>第十四回 : 国際社会で生きる作法とは : 相互扶助の理念と共生</p> <p>第十五回 : 試験 (またはレポート、小論文)</p> <p>* 講義では適宜、VTR 映像を使用します。</p>				
成績評価の 方 法	筆記試験結果又はレポート・小論文の提出状況及び出席状況を総合的に評価				
テキスト・ 参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際関係論—現実主義、多元主義、グローバリズム (彩流社) ・ 国際人道法の発展と諸原則 (日本赤十字社刊) *いずれも参考資料 				
履修にあつ ての留意点	時事の話題等を適宜使用するのでテキスト・参考文献等の購入は任意とする。日本赤十字社ホームページ及び新聞等で世界情勢には目を通しておくこと。常に自ら考える姿勢を持ち授業に臨むこと。				
備 考	授業では、ドキュメント映像も上映いたします。				